

2021年4月7日

防災塾・だるま会員各位

防災塾・だるま
塾長 荏本孝久
(神奈川大学工学部教授)

「第180回防災まちづくり談義の会」講演会「定例会」のご案内

(会場参加+ZOOM 参加)

春爛漫の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年は、東日本大震災10年、阪神淡路大震災四半世紀を過ぎ、2年後の2023年には関東大震災百年を迎えます。災害対策は進んだ面もあり、次々と新局面を迎えて変遷して課題も多く残っています。

2021年度からは、A自助、B 共助、C公助連携 D時事防災課題 の4サロンの視点から、防災の現状とこれからの対策を展望しようという方向性で検討し、今回がそのスタートの会になります。

ぜひ、ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

1 日時 2021年4月16日(金) 13:30～16:45

2 会場 横浜青少年育成センター 地下二階 第一研修室 及び、オンラインでの参加併用
〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町4丁目42-1

3 内容

(1)第180回 防災まちづくり談義の会 13:30～14:30

「日本列島の誕生と災害の理解」 防災塾・だるま 副塾長 元小学校校長 鷲山龍太郎
～卓上で創る日本列島で理解する日本列島の生い立ちと災害～(防災まちづくり談義の会チラシ参照)

(2)定例会 14:45～15:15 総会に向けての資料確認と協議

(3)防災4サロンスタート 15:30～16:45

- ・新年度防災塾・だるまは、会員が意見交換しながら進める4つの「防災サロン」(A自助サロン・B共助サロン・C公助連携サロン・D時事防災課題サロン)を柱に、サロンで談義し、親睦を深め、各テーマに基づく年間のプランを考え、サロン主催の「防災まちづくり談義の会」を年に1講座開催する体制を検討しています。
- ・会員の皆様は、ご自身の課題意識に近いサロンに所属するか、関心をもてるサロンに自由に参加して学んだり、親睦を深めたりしていただけます。(リモート参加可能)
- サロンは現地、及び ZOOM にて任意に選択してご参加いただけます。

4 参加方法

(1)現地会場参加 新型コロナウイルス感染症対策のため41名の人数制限があります。

(先着順)会員+招待者とします。ご希望の方は早川まで電話で申し込み。

👉会場参加希望のメールアドレスと電話番号は、4月7日に送付した会員宛メールにあります

(2) ZOOMでの参加方法 4月7日に送付した会員宛メールに ZOOM アドレスがあります。

(2)会員の方は、この談義の会に参加して欲しいお知り合いの方をご招待いただくことができます。

ただし、ズームアドレスの SNS 等による拡散はしないようにしてください。

防災塾・だるま 「四つの防災サロン」にご加入を」

～4月16日は4サロンの準備会です～

4つの防災サロンに参加して、語り合い、親睦を深めましょう

2018年に集計した防災塾・だるま今後に向けてのアンケートには、「来るだけで、仲間と語り合えるサロンのようなものでもよい。」「お互いの実践を知りたい。」というご意見もありました。一方では、「何らかの社会貢献を具体的に進められるだるまでありたい。」という意見もありました。そこで、これらのご希望を統合し、テーマと方向性を明確にした「防災サロン」を設定し、そこで親睦を深めながらも、地域、社会の防災力向上になんらかの創意ある働きかけを創出できる体制づくりを構想してきました。

また、「防災まちづくり談義の会」もそれぞれのサロンで、その年の具体的取組として、自律的に一講座企画、運営、開催します。

つきましては、四つのサロンのいずれか(複数・あるいは任意に)参加して、防災について語り合い、地域社会の「防災まちづくり」になんらかの社会貢献をめざす仲間としてご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

防災塾・だるまサロン活動と「防災まちづくり談義の会」

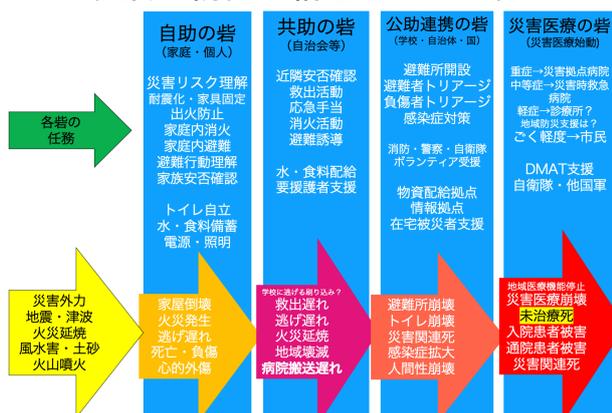
防災サロン	テーマ	アクションプラン	担当
A 自助力向上サロン	自分の命は自分で守れるように、基礎的な防災知識と技をわかりやすくまとめる。	『自助の取り組み例』を検証し、より優先順位をつけて、分かりやすい資料を作成。	◎田中栄 ○
B 共助力向上サロン	平常時 発災時 避難所運営に関する実践に役立つ共助の取り組みの構築を目指す。	各メンバーが自分の地域の状況を発表して、共通に利用できかつ地域の特性やリスクを反映したマニュアルを作成し、訓練を実施する。	◎山田 ○増田
C 公助連携力向上サロン	包括的防災まちづくり構想。自助力・共助力、公助力連携による「防災まちづくり」推進体制の再構築。法律・条例改訂への提言検討。	災害への脆弱性となる「地域社会の様々な乖離」の克服。自助力、共助力を向上させるために、公助との連携構造を抜本的に検討。法律、条例等によるルール化も視野に。	◎鷺山 ○田中喜
D 時事防災課題サロン	パンデミック・温暖化等地球規模の課題を研究し、解決(SDGs)に向けた提言を目指す。	SDGs の確認をする中で、取り組むべき課題を探る。各人の Specialty・知見を最大限に生かす。	◎樋口 ○

参加方法

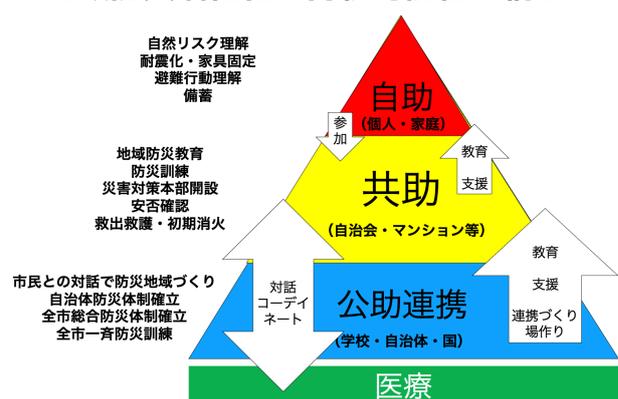
○現地でも、リモートでも参加できるようにします。

○リモート参加は、分科会形式の「ブレイクアウトルーム」にご案内しますので、A,B,C,D いずれかのサロンを選択して、仲間に入ってください。

災害・防災の構造と4つの砦



地域防災活性化・持続可能性の構造



鷺山副塾長「自助・共助・公助連携の構造についての考察」(神奈川大学講演会資料から)